

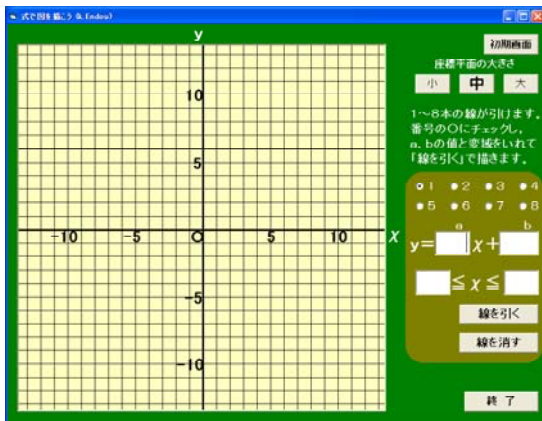


1次関数のグラフで式や変域の求め方を理解させるには（1次関数のグラフで図をかかせるには）

42350 式で図を描こう

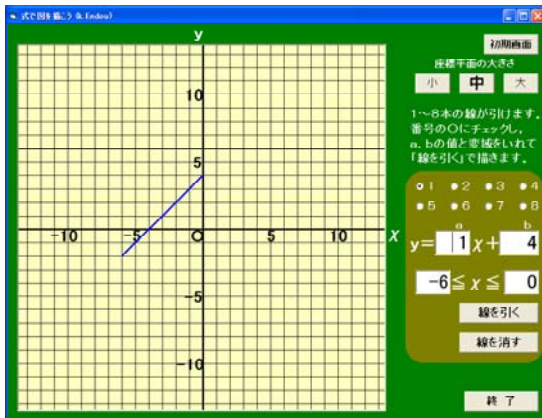
1次関数 $y = ax + b$ の a , b の値と変域を入力することで、そのグラフを表示するソフトである。最大8本のグラフを表示することができる。

①初期画面



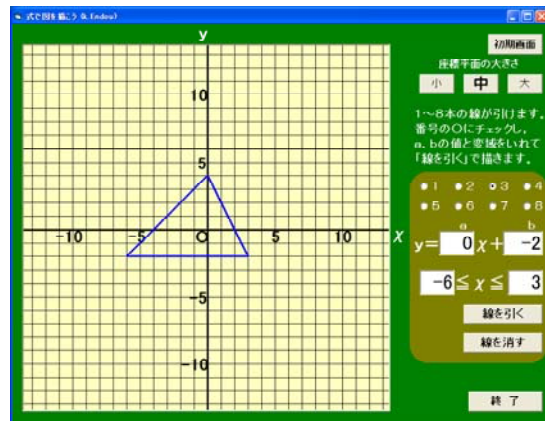
- 番号を選んで○にチェックし、1次関数 $y = ax + b$ の a , b の値と、変域を入力する（値には整数、小数の入力が可）。

②「線を引く」ボタンを押したとき



- 入力した1次関数のグラフが変域の部分のみ表示される。
- 番号を選んで「線を消す」ボタンで、グラフを消すことができる。

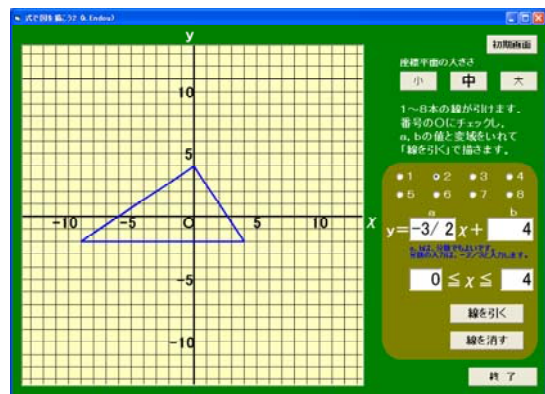
③何本もの線を表示すると



- 三角形や絵、文字などを描くことができる。

描きたい図を、式と変域を考えさせて描かせる。

- ◎ a , b の値が分数の場合でもよいソフトも用意されている。



- ・42355 式で図を描こう 2

ポイント

描きたい図をもとに1次関数の式や変域を考えさせ、このソフトに入力して正しいかどうか確かめる中で、式や変域の求め方の理解を深めさせたい。